

# 平成28年3月期（第19期） 第2四半期決算説明会

平成27年11月2日

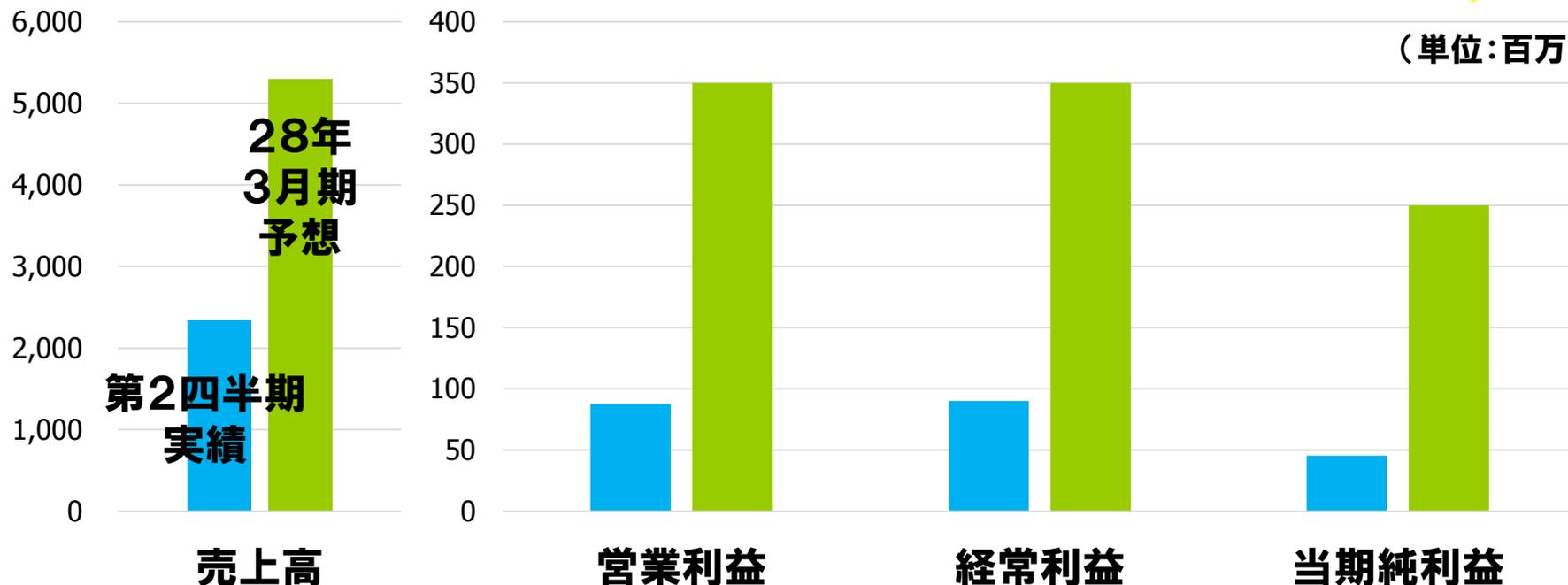
## 株式会社Jストリーム

※当資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資などの判断を行うことは差し控えて下さい。



# 28年3月期 第2四半期実績ハイライト

(単位:百万円)



	平成28年3月期				
	当期(H27 4-9月)実績	通期予想	進捗率	前期実績	対前期増減
<b>売上高</b>	<b>2,345</b>	<b>5,300</b>	44.2%	<b>2,346</b>	△0.0%
<b>営業利益</b>	<b>87</b>	<b>350</b>	25.1%	<b>175</b>	△49.8%
<b>経常利益</b>	<b>90</b>	<b>350</b>	25.7%	<b>177</b>	△49.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	<b>45</b>	<b>250</b>	18.1%	<b>161</b>	△71.9%

# 四半期決算 連結損益計算書

	当期(H27 4-9月)	(構成比)	増減率	前年同期	(構成比)
売上高	2,345,063	100%	△0.0%	2,346,124	100%
売上原価	1,355,834	57.8%	△1.2%	1,372,640	58.5%
売上総利益	989,228	42.2%	1.6%	973,484	41.5%
販売費及び一般管理費	901,277	38.4%	12.9%	798,347	34.0%
営業利益	87,951	3.8%	△49.8%	175,136	7.5%
経常利益	90,253	3.8%	△49.1%	177,160	7.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	45,488	1.9%	△71.9%	161,906	6.9%

## 内的要因

- ◆ 第2四半期は第1四半期対比増収となったが、営業費用、増床等支出増加に見合った売上に至らず前年対比では減益となる。
- ◆ 子会社売上合計:742→691百万円と減少(映像制作子会社の売上減)

## 受注動向

- ◆ 医薬系の開拓進めるが前年度2Qの水準には及ばず。金融業界、教育用途の需要開拓し補う。
- ◆ 子会社の映像(番組)制作関連受注が不振。

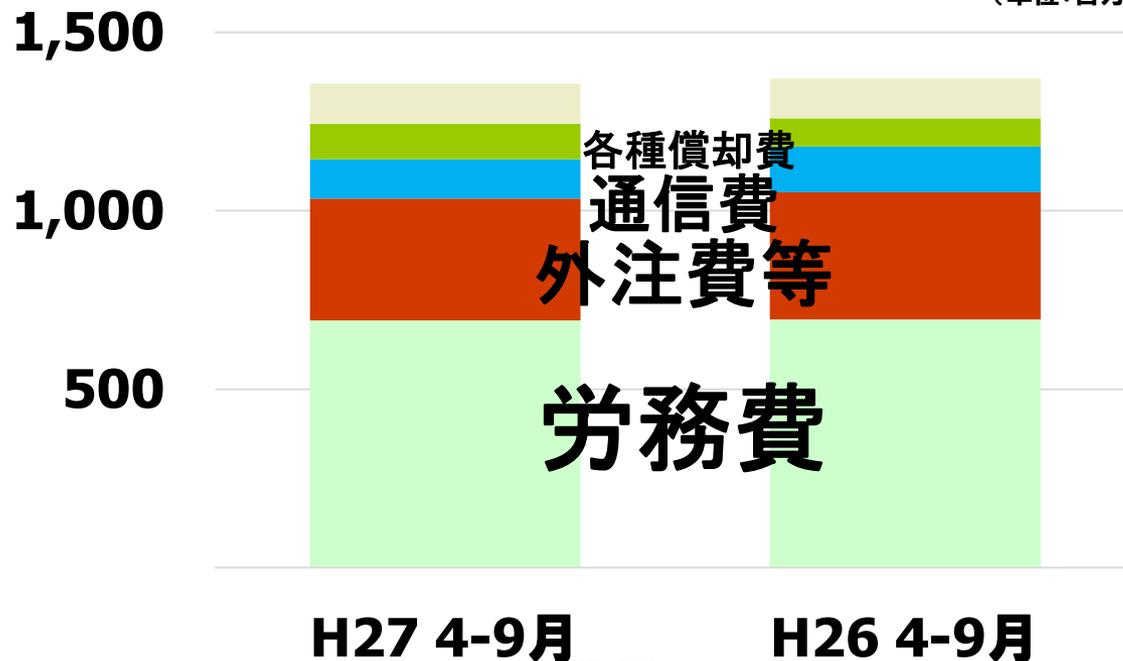
## 連結バランスシート

		H27,9月末時点	主な変動要因	前期末	前年同期
資産の部	流動資産	2,962,944	現預金 △208,929	3,184,517	2,984,558
	固定資産	938,594		811,321	714,659
	有形固定資産	351,753	敷金 +29,941 長期前払費用 +18,232	312,260	229,715
	無形固定資産	423,993		382,597	369,692
	投資その他の資産	162,848		116,464	115,251
資産合計		3,901,538		3,995,839	3,699,218
負債の部	流動負債	446,061	未払金 △93,140	592,641	454,192
	固定負債	136,417		134,517	114,697
純資産の部	株主資本	資本金	2,182,379	2,182,379	2,182,379
		資本剰余金	626,241	626,241	626,241
		利益剰余金	751,958	706,470	581,644
		自己株式	△459,182	△459,182	△459,182
	その他の包括利益 累計額	932	708	892	
	非支配株主持分	216,730	212,064	198,353	
	純資産合計	3,319,060	3,268,681	3,130,327	
負債・純資産合計		3,901,538		3,995,839	3,699,218

◆増床に伴い敷金等の増加あり。その他の期末から変動額は通常の事業によるもの。(単位:千円)

# 売上原価(連結)主要項目

(単位:百万円)



**人的費用の合計**  
 (労務費+外注費等)  
**1143百万円**  
 (前年度:1,137百万円  
 対比+0.5%)

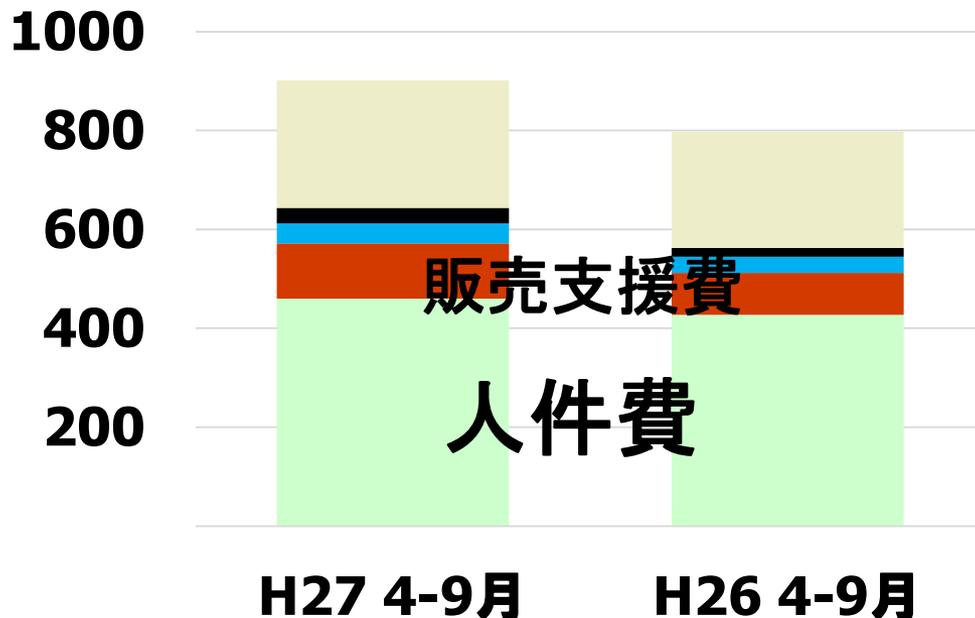
連結従業員数 339名  
 (前年度:321名)

個別従業員数  
 (子会社への出向者除) 223名  
 (前年度:202名)

	H27 4-9月		増減率	H26 4-9月	
	当期(H27 4-9月)	構成比		前年同期	構成比
労務費	692	51.1%	△0.5%	695	50.7%
外注費等	341	25.2%	△4.6%	357	26.1%
通信費	110	8.1%	△14.3%	128	9.4%
各種償却費	99	7.4%	+25.9%	79	5.8%
その他振替等	111	—	—	111	—
売上原価合計	1,355		△1.2%	1,372	

- ◆ コスト低減により通信費が減少。サーバー等更新に伴い減価償却費増加
- ◆ 未成約の案件分の費用が販管費に計上されたこともあり原価は前年比減少

# 販売費及び一般管理費主要項目（連結）

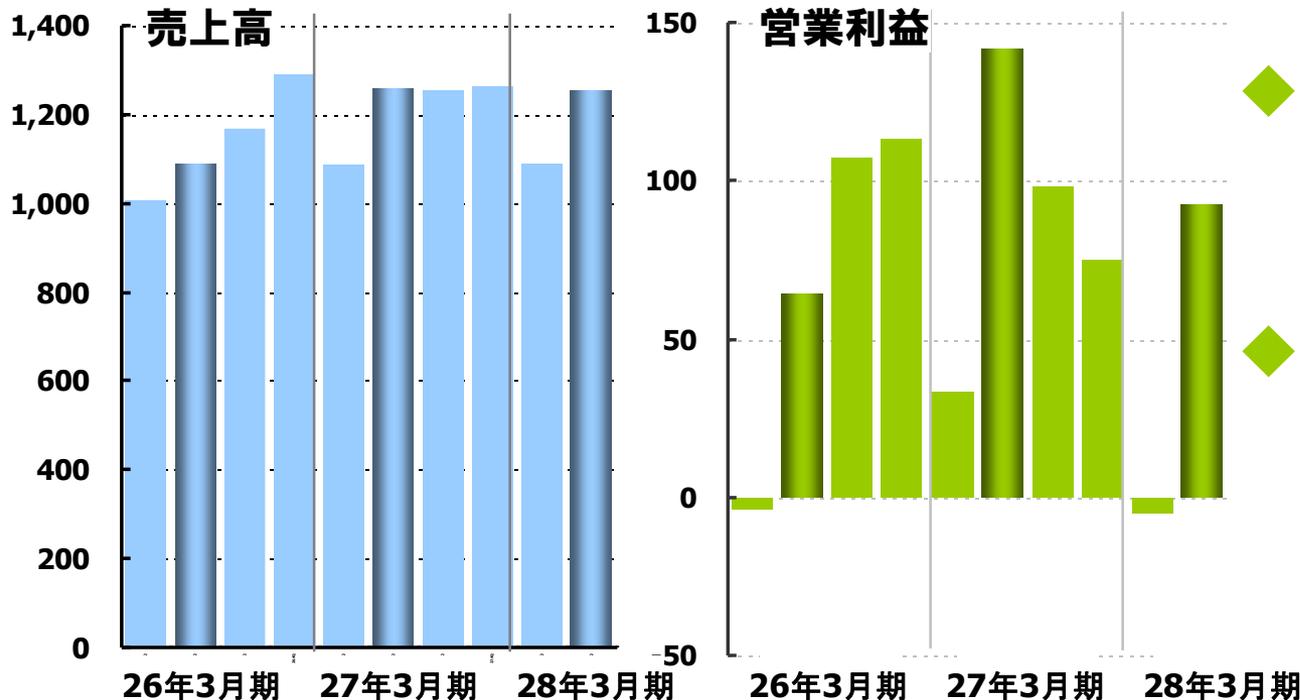


- ◆制作営業提案活動へ注力したことから販売支援費が、増床に伴い地代家賃が増加
- ◆人件費増、求人費(25←15)等人員にかかる費用が増加傾向。求人費の相応の増加は想定済

	当期(H27 4-9月) 構成比		増減率	前年同期 構成比	
人件費	<b>459</b>	<b>51.0%</b>	<b>+7.7%</b>	<b>427</b>	<b>53.5%</b>
販売支援費	<b>111</b>	<b>12.4%</b>	<b>+30.2%</b>	<b>85</b>	<b>10.8%</b>
地代家賃	<b>40</b>	<b>4.5%</b>	<b>22.5%</b>	<b>32</b>	<b>4.1%</b>
業務委託手数料	<b>31</b>	<b>3.5%</b>	<b>77.8%</b>	<b>17</b>	<b>2.2%</b>
その他	<b>258</b>	—	<b>+9.9%</b>	<b>234</b>	—
<b>販管費合計</b>	<b>901</b>		<b>+12.9%</b>	<b>798</b>	

（単位：百万円）

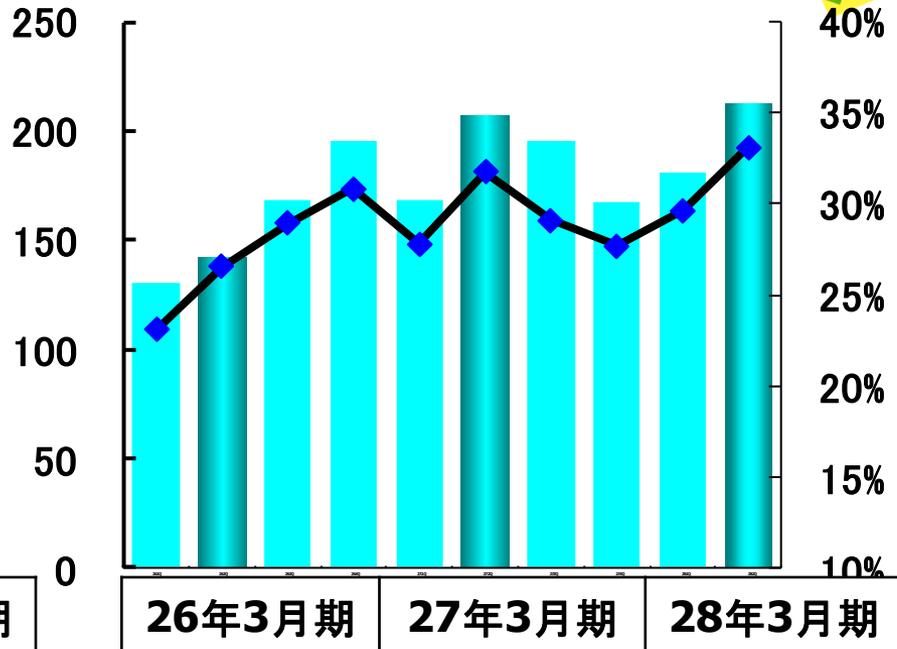
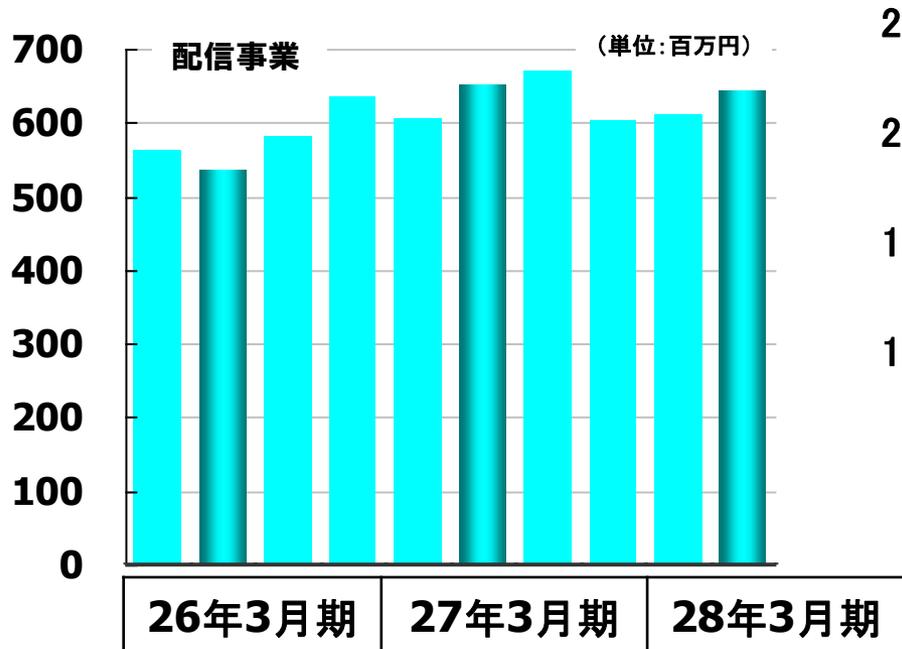
# 四半期別売上、利益推移 (連結)



- ◆ 2Qは前年同期とほぼ同水準の売上。上期としても同様
- ◆ 従業員増、増床等費用増大に伴い営業利益減

	26.1Q	26.2Q	26.3Q	26.4Q	27.1Q	27.2Q	27.3Q	27.4Q	28.1Q	28.2Q
売上高	1,005	1,090	1,168	1,288	1,086	1,260	1,256	1,262	1,089	1,255
営業利益	△4	64	107	112	33	142	98	75	△4	92
純利益	24	56	157	116	28	133	74	51	△12	58
売上高	2,095		2,456		2,346		2,518		2,345	
営業利益	60		220		175		173		87	
純利益	125		63		80		273		45	

# セグメント売上・営業利益状況：配信事業

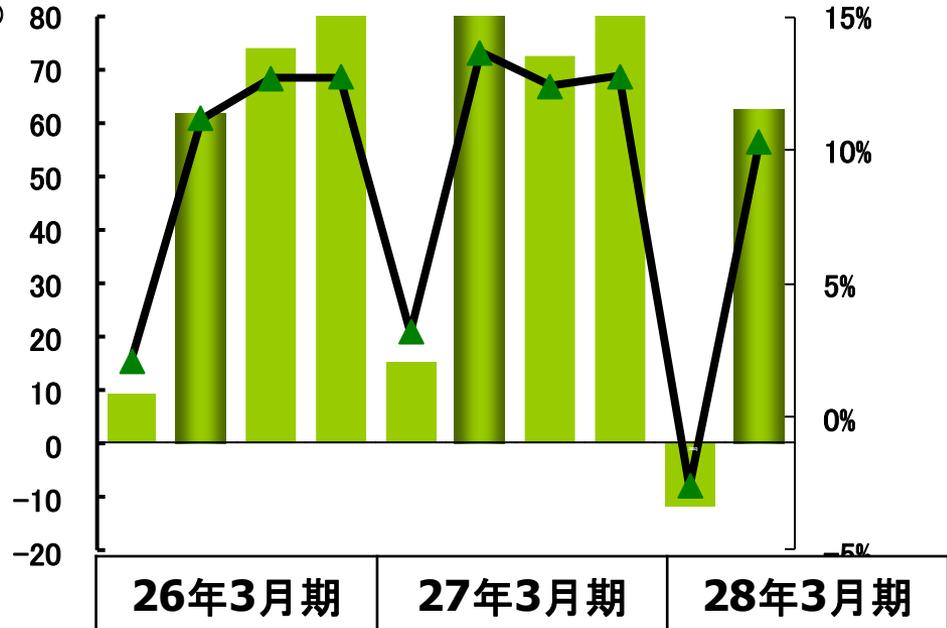
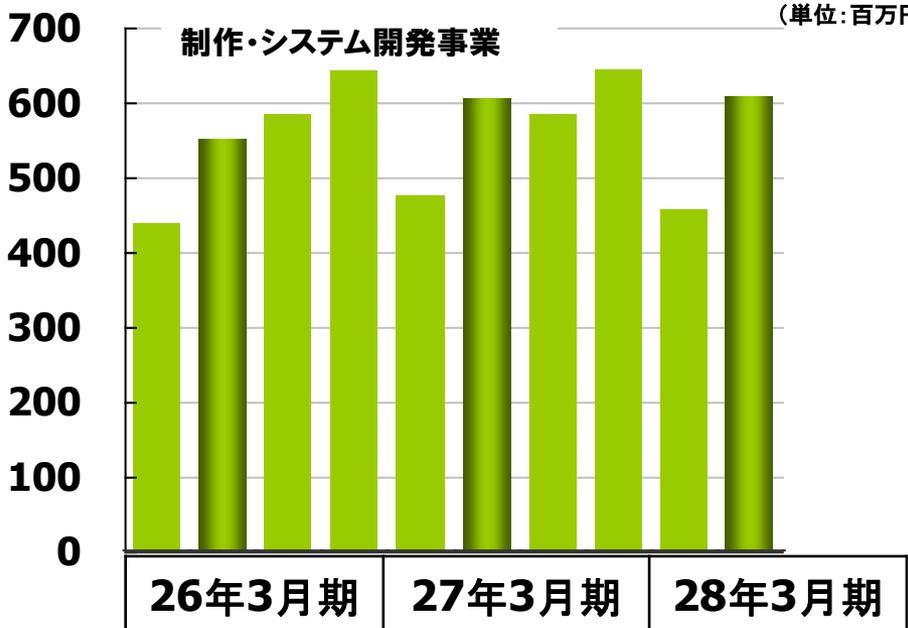


	26.1Q	26.2Q	26.3Q	26.4Q	27.1Q	27.2Q	27.3Q	27.4Q	28.1Q	28.2Q
配信	563	535	582	635	606	652	670	604	612	643
	130	142	168	195	168	207	195	167	181	213
	23.1%	26.5%	28.9%	30.8%	27.8%	31.7%	29.1%	27.7%	29.6%	33.1%

◆ 医薬系の利用を中心としたライブ配信(Jストリーム単体)は前期対比5.4%減

◆ オンデマンド配信(単体)は前期比10%増となり、配信事業で見た場合前年2Qと売上規模は同様だが安定性、利益率が改善

# セグメント売上・営業利益状況：制作・システム開発事業

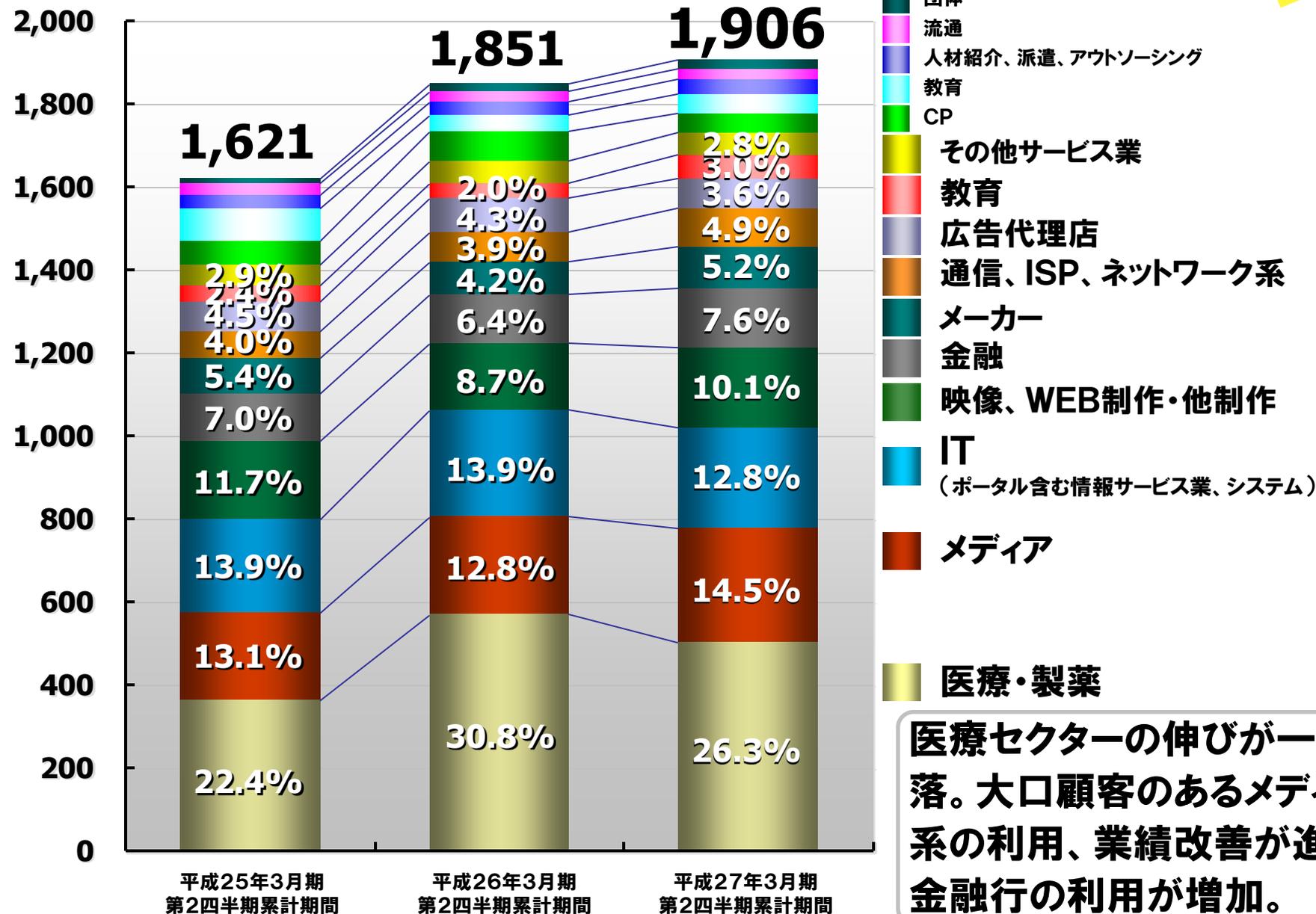


	26.1Q	26.2Q	26.3Q	26.4Q	27.1Q	27.2Q	27.3Q	27.4Q	28.1Q	28.2Q
制作	438	551	582	651	477	604	584	643	455	606
	9	61	74	83	15	82	72	82	△11	59
	2.1%	11.2%	12.7%	12.7%	3.2%	13.6%	12.4%	12.8%	△2.6%	9.8%

- ◆ 映像制作子会社の番組制作受注が不調
- ◆ Jストリーム単体では前年と同水準

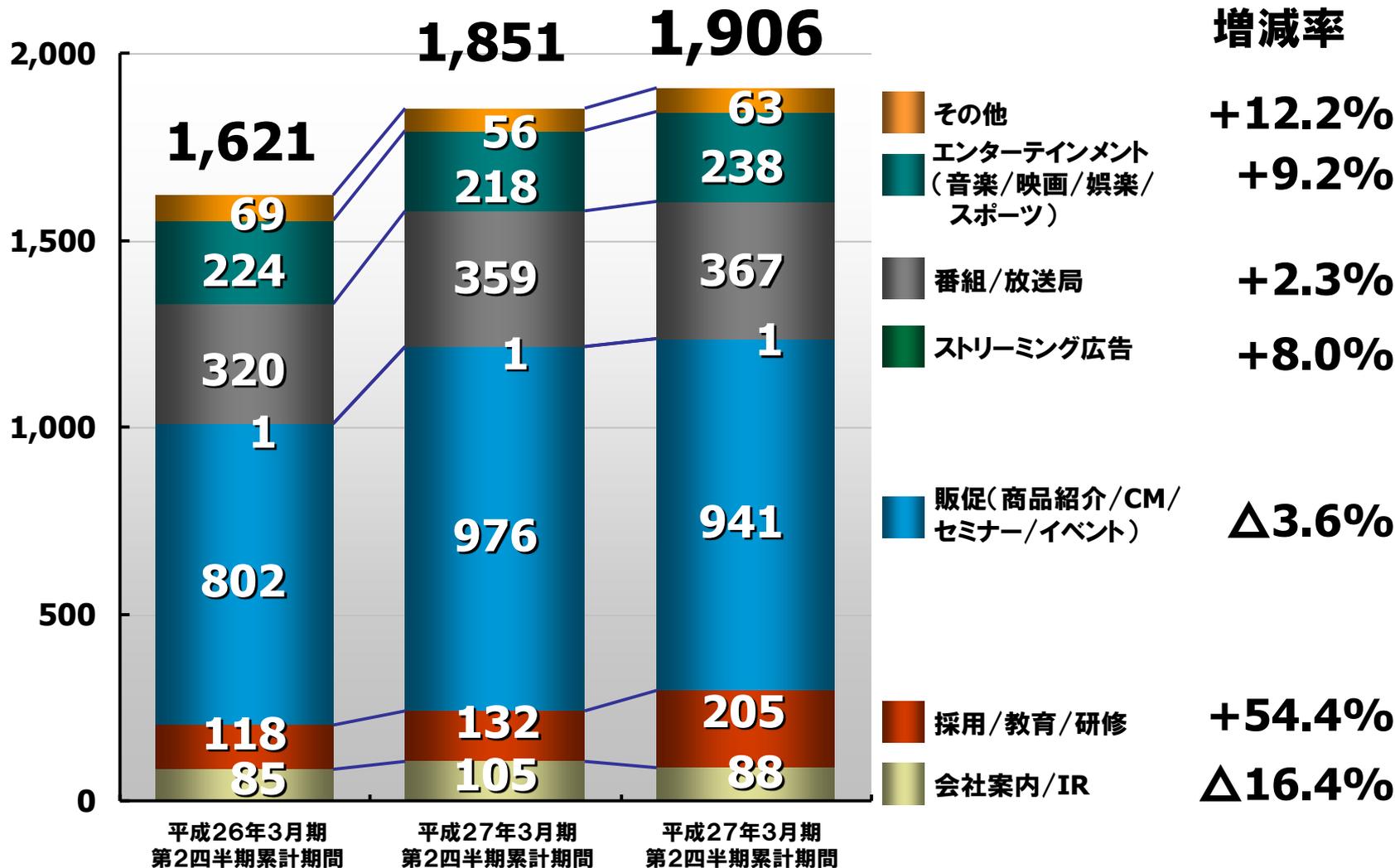
- ◆ 制作案件の受注増のために営業提案を増やしており経費増。
- ◆ 制作のサービスメニューを増強し営業提案に繋げる動きをとっている

# 業種別売上比率(個別)



医療セクターの伸びが一段落。大口顧客のあるメディア系の利用、業績改善が進む  
金融行の利用が増加。

# 用途別売上比率(個別)



◆ 医薬系の案件が昨年対比減少となっているため「販促」用途が前年割れとなっている。他の用途、特に教育系の利用が伸長。

# 設備投資計画(連結)

	投資項目	実施額 (年間予定額)
<p><b>28年 3月期</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>配信事業関連</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワーク ハードウェア (46)</li> <li>Equipmedia、CDN、広告系等サービス投資 (67)</li> <li>その他配信系ソフトウェア (19)</li> </ul> </li> <li>■ <b>制作・システム開発事業関連</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>映像処理関連機器更新、増強 (5)</li> <li>提供サービス関連ソフトウェア (8)</li> </ul> </li> <li>■ <b>その他(管理系含む)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>本社増床、社内利用システム系HW (43)</li> <li>業務管理、会計管理システム等 (15)</li> </ul> </li> </ul>	<p style="font-size: 2em; text-align: center;"><b>204</b></p> <p style="font-size: 1.5em; text-align: center;"><b>(415)</b></p>

# 最近のトピックス

もっと素敵な伝え方を。



# J-Stream CDNNextにSSL新オプションを追加

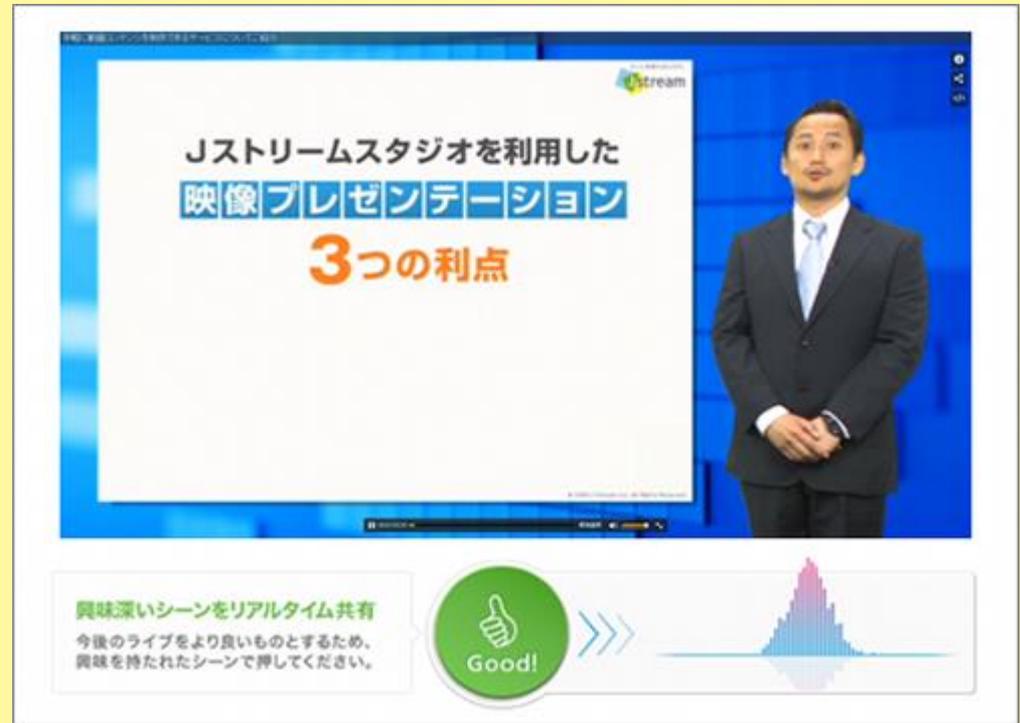
## SSL対応・動的ファイル対応

- ◆ CDNサービス「J-Stream CDNNext」にSSL新オプションを追加し、iOS9で適用されるApp Transport Security(ATS)にいち早く完全対応
- ◆ HTTP通信対比5～10倍程度のサーバー負荷が発生するWebサイトのSSL化によるHTTPS通信に導入することで、オリジン(顧客)サーバーに負荷をかけずにSSL化を実現
- ◆ 1契約(アカウント)で複数のWebサイト・ドメインのCDN化が可能。迅速・手軽にWebサイト全体の常時SSL化に対応。

ライブ視聴者が興味・関心を持ったシーンでPCやスマートフォンに表示されている「Goodボタン」を押すことにより、反応をリアルタイムに可視化するサービス。

動画再生回数や完視聴率などとは違う視点で動画の評価・分析が可能

視聴者も他の視聴者の反応をリアルタイムで知ることができ、参加感・一体感が高められる



# 28年3月期 今後の方針

もっと素敵な伝え方を。



**ライブ・Equipmediaを中心に  
商品力強化・新規契約数を拡大**

**利益を確実に出せる体質強化を行い、  
動画広告事業等、次の成長のための  
布石を打つ**

## 重点戦略

- ◆ **配信サービスは引き続き契約件数増加に注力**
- ◆ **高成長したライブは医薬領域依存から金融や社内情報共有等、新領域の開拓**
- ◆ **映像とWebの融合提案の強化、配信商材と組み合わせた運用提案の推進**
- ◆ **新規事業強化 → 動画広告の事業化推進**

# 業績予想値 ~変更なし

	平成28年3月期		
	当期(H27 4-9月) 実績	通期予想	進捗率
売上高	2,345	5,300	44.2%
営業利益	87	350	25.1%
経常利益	90	350	25.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	45	250	18.1%

# 説明内容についてのお問合せ先

**決算説明内容についてのお問い合わせは**

**【メール】**

<http://www.stream.co.jp/contact/ir/privacy/>  
(お問い合わせフォーム)

**【電話】**

**電話 03-5765-7744 (総務部広報IR課)**

**よりお寄せください。**